

異年齢交流プログラム

○自分とは異なる年齢の子どもとの交流を通して、思いやりや自主性、社会性、規範意識を育てる。

体験不足や人間関係の希薄化、集団のために働く意欲の低下などが指摘される中、子どもに「人とかかわる喜び」を実感させるためには、異年齢の子どもが集まり、交流を深める場を意図的に設定することが大切です。

本プログラムは、異年齢集団で行われる体験活動、スポーツ・文化活動などを通して、社会生活を送るために必要な規範意識、自尊感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うとともに、社会性や協調性などを身に付けさせることをねらいとしています。

NPO法人と連携した「放課後子供教室」の実践例（小学校）

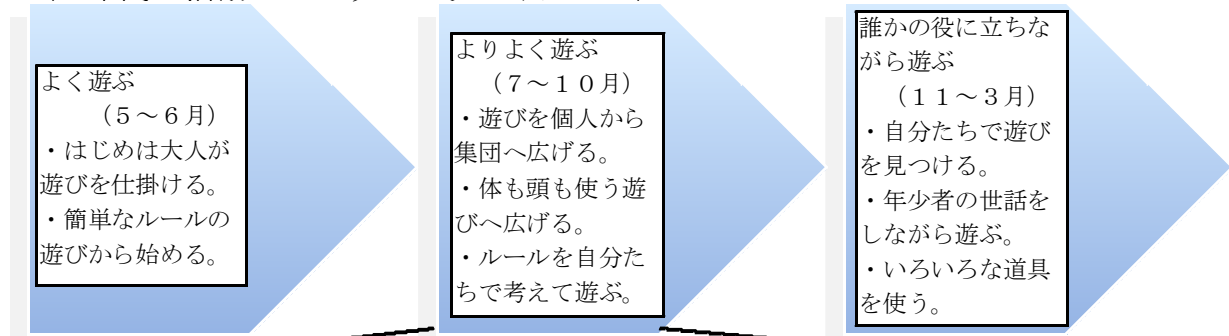
1 概要

小学校中学年までとしていた学童保育の対象を拡大し、小学校高学年も加えた放課後の居場所づくりや豊かな体験活動を通して、「人とかかわる喜び」を実感させるとともに、道徳性、社会性、協調性など身に付けられるようにしています。

子どもの体験活動への指導のノウハウをもつNPO法人と教育委員会が連携することで、子どもの発達段階や実態に応じた活動プログラムを作成し、質の高い活動を行っています。

2 プログラム例

〈1年間の活動のステップアップイメージ〉



7月のプログラム例

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|---|----------------------|----------------------|---|---------------------|
| 第1週 | キックベース | お休み | キックベース (チームワーク編) | キックベース (チームワーク編) | キックベース (チームワーク編) |
| 第2週 | 子どもたちが楽しみながら地域のお手伝い（樹木の移植）ができるようにしています。 | | キックベース (作戦編) | キックベース (作戦編) | キックベース (作戦編) |
| 第3週 | お休み (海の日) | ドングリの木の お引越（植え替え） | ドングリの木の お引越（植え替え） | 同じ遊び（キックベース）でも回数を重ねるごとにルールを自分たちで工夫するようにしています。 | |
| 第4週 | 水でっぽう合戦 | お休み | 水でっぽう合戦 | しおり作り | |